



和歌山県防災航空隊

WAKAYAMA AIR RESCUE



和歌山県

航空隊の任務

救助活動



救急活動



- ・河川、海等での水難事故における捜索、救助
- ・山岳遭難事故等における捜索、救助
- ・高層建築物火災による救助
- ・陸上から接近できない災害現場での被害者等の救助

- ・山村、離島等からの救急患者の搬送
- ・傷病者発生地への医師の搬送及び医療器材の搬送
- ・高度医療機関への傷病者の転院搬送

火災防御活動



- ・火災における空中からの消火活動
- ・火災における情報収集、情報伝達及び住民の避難誘導
- ・火災現場への消火資器材、消防要員等の輸送

広域航空消防 防災応援活動



- ・国や他府県からの要請を受け、上空からの救助、救急、火災防御活動、及び災害現場への人員、物資輸送等

※近隣県との相互応援協定

訓練活動



(他の活動)

災害応急対策活動／地震、台風、豪雨等の災害の状況把握等

災害予防対策活動／災害危険箇所等の調査等

一般行政活動／一般行政利用に関する取り扱い要領に基づく一般行政利用活動

※近隣県との相互応援協定

紀伊半島三県災害等相互応援協定（和歌山県、三重県、奈良県）

和歌山県と徳島県の消防防災ヘリコプター運航不能期間等における相互応援協定

滋賀県と和歌山県の消防防災ヘリコプター運航不能期間等における相互応援協定

近畿圏危機発生時の相互応援に関する基本協定（関西広域連合）

BELL412EPI (JA30AR) Since2023

諸元・性能



型式	BELL412EPI	機体番号	JA30AR
全長	17.1 m	機体名称	きしゅう
全幅	14.0 m	最大速度	140 Kt 259 km/h
全高	4.7 m	最大巡航速度	125 Kt 231 km/h
最大離陸重量	5,500 kg	最大航続距離	390 nm 722 km
空虚重量	3,311 kg	最大航続時間	3 時間07分
搭載燃料	330.5 gal (1,251 ℥)	最大運航高度	20,000 ft 6,096 m

装備品・資器材

○ホイスト装置



救助隊員の昇降、要救助者の吊り上げに使用する。
吊り上げ能力：272kg／76m

○ヘリコプターテレビ伝送システム



災害発生時に上空から現場の状況を撮影し、映像をリアルタイムに配信する。赤外線カメラに切り替え可能で、火災での熱源確認や捜索活動にも使用する。

○消火タンク（Fire Attack）



機体下部に装着し、消防隊からの給水、河川又はダム等から汲み上げた水で消火活動を行う。
タンク容量：1,420ℓ

○救助資器材



- RS (ラッピングストレッチャー)
- RH (レスキューハーネス)
- SVS (デラックスサバイバースリング)
- FS (フロートストレッチャー)
- レスキュースリング等

○救急資器材



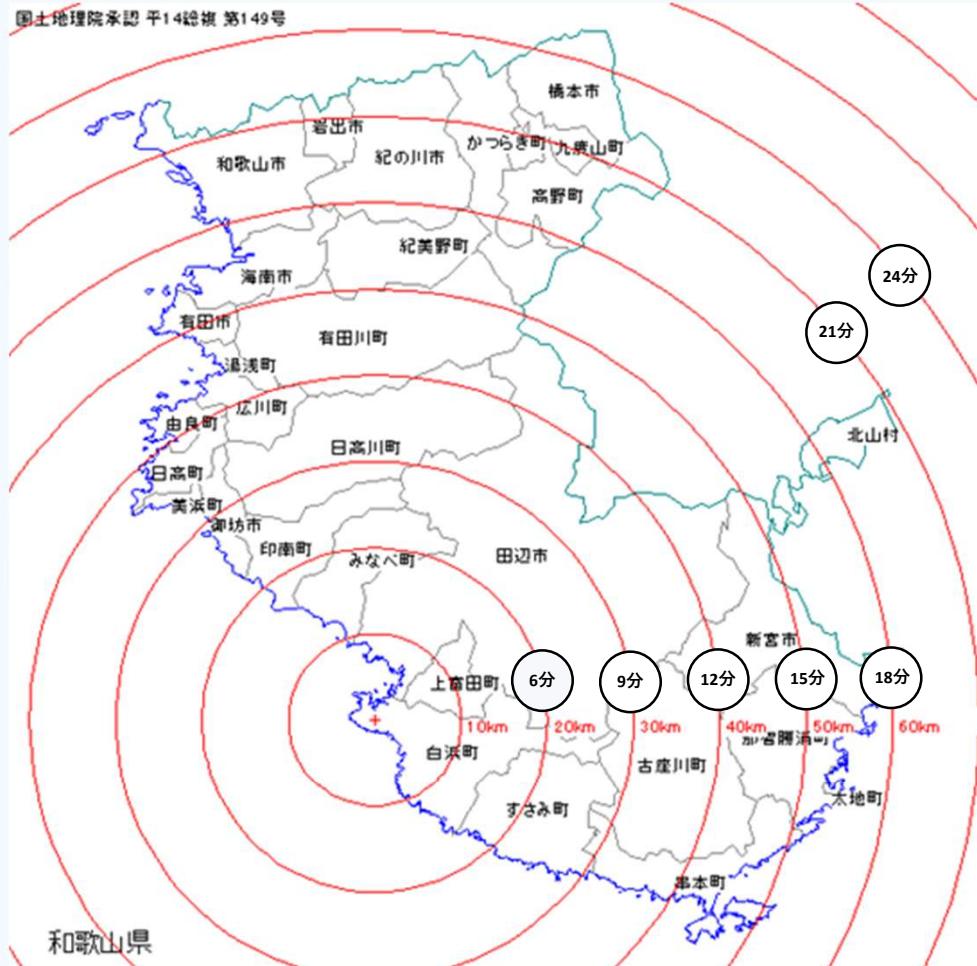
- ストレッチャー
- 酸素バッグ
- 半自動除細動器
- 患者監視モニター、吸引機
- スクープストレッチャー等

○隊員装備品



- フルボディーハーネス
- 救助用ヘルメット（ヘッドセット付）
- 航空ヘルメット
- ゴーグル、活動用ベスト
- 革手袋、トレッキングシューズ等

県内各地への所要時間



組織・取り組み

和歌山県防災航空隊は、和歌山県防災航空センターに所属し、県内各消防本部から派遣された隊長以下10名の航空隊員で組織しています。

県の中央に位置する南紀白浜空港を基地としており、24分で県下全域をカバーすることができます。

平成19年に南和歌山医療センターと協定を締結し、医師等同乗救急救助活動を実施しております。必要に応じて医師を現場に降下させ、診察及び治療を行います。



要請から出動まで

災害発生

119番通報

市町村・消防本部（局）

出動要請

出動要請の回答

和歌山県防災航空センター

ヘリ出動

要請の報告

出動の決定

運航管理責任者
(災害対策課長)

和歌山県防災航空センター

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町3031-56

TEL : 0739-45-8211 MAIL : e0903011@pref.wakayama.lg.jp

運航体制

運航開始：平成8年3月9日

運航体制：通年運航

(検査、整備等を除く)

運航時間：日の出から日没

構成人員：センター所長

(災害対策課長兼務)

センターライセンス

(災害対策課副課長兼務)

隊長、副隊長、隊員 計10名

事務職員、事務補助職員

[運航管理委託業者]

操縦士、整備士

運航安全管理者、運航管理者



和歌山県

令和7年12月発行